

調布市子ども・子育て支援に関するニーズ調査の設問内容（就学児童）主な変更箇所抜粋

NO	調査項目	設問のねらい	選択肢	変更理由	精査	精査理由等（量の見込みとの関係、施策への反映等）	種別
3	兄弟姉妹の人数	・世帯の子どもの人数及び年齢層を把握	きょうだい数 □人	上の子か下の子を把握できるよう問3に統合し問方変更	設問統合変更	■子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子どもの人数、年齢層を把握しクロス集計に必要	○
4	末子の年齢	・クロス集計に活用	末子の年齢 □□歳（令和5年 月 日時点）	上の子か下の子を把握できるよう問3に統合し問方変更	設問統合変更	■子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子どもの人数、年齢層を把握しクロス集計に必要	○
新設	ヤングケアラーの認知 要用語解説	・ヤングケアラーの保護者の認知度	1. 知っている 2. 聞いたことはあるが内容は知らない 3. 知らない	問30に設問移動	設問移動	ヤングケアラーの保護者の認知度の把握 ※虐待の次あたりに移すのも一案	●
9	対象児童の家族等のお世話の有無	・家族のお世話等の把握	1.有（同居） 2.有（別居） 3.無	聞き方が直接的なため、問8の日頃、宛名のおおさんをみてもらえる（保育園のお迎え、食事や入浴の世話、家事のお手伝いなど）親族・知人はいますかの設問に統合・整理	設問統合変更	対象児童が家族の世話をしているかを把握する	●
新設	対象児の世話（保育園のお迎え、食事や入浴の世話など）を日常的に行っている18歳未満の兄弟姉妹	・家族のお世話等の把握	1.有 2.無 ※家事のお手伝い状況も聞く？	聞き方が直接的なため、問8の日頃、宛名のおおさんをみてもらえる（保育園のお迎え、食事や入浴の世話、家事のお手伝いなど）親族・知人はいますかの設問に統合・整理	設問統合変更	家庭内にヤングケアラーと思われる子どもがいるかどうかを把握する ※NO14に入れる??	●
10	配偶者がいない（母子家庭・父子家庭）理由	・母子・父子家庭の状況を把握	1. 死別 2. 離婚 3. 未婚・非婚 4. その他（ ）	・前回回答数少で、聞くらひより親に聞いたほうが有効なため削除	×	離婚の理由の傾向を問われているため前回回答数少ではあるが、傾向把握のため×から○に変更	●
14	子育てを主に行っている人	・ニーズの発生に最も影響が大きい保護者を特定	1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖母 5. その他（ ）	設問数の関係、国のモデル調査票では必須設問となっているが、量の見込みの算出に使わない、子育てを主に行っている人に回答してもらうため、削除	×	保育、預かり、家事育児支援等のニーズの発生の高い保護者の特定に必要	◎
25	母親：家を出る時刻	・保護者の就労実態を把握	6時より前、6時台、7時台、8時台、9時台、10時台	・必須項目でなく、量の見込みへ不使用、設問数の関係から削除	×	■子ども・子育て支援事業計画策定にあたり家庭類型の分類に必要	○
26	母親：帰宅時刻	・保護者の就労実態を把握	15時より前、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時台、22時以降	・必須項目でなく、量の見込みへ不使用、設問数の関係から削除	×	■子ども・子育て支援事業計画策定にあたり家庭類型の分類に必要	○
31	父親：家を出る時刻	・保護者の就労実態を把握	6時より前、6時台、7時台、8時台、9時台、10時台	・必須項目でなく、量の見込みへ不使用、設問数の関係から削除	×	■子ども・子育て支援事業計画策定にあたり家庭類型の分類に必要	◎
32	父親：帰宅時刻	・保護者の就労実態を把握	15時より前、15時台、16時台、17時台、18時台、19時台、20時台、21時台、22時以降	・必須項目でなく、量の見込みへ不使用、設問数の関係から削除	×	■子ども・子育て支援事業計画策定にあたり家庭類型の分類に必要	◎
33	仕事と子育てを両立させるうえで大変だと感じる こと	・子育ての実態を把握	1. 子どもと関わる時間を充分にとれない 2. 職場に両立を支援する雰囲気がない 3. 自分の体力がもたない、健康状態がよくない 4. 子どもだけで留守番をさせる時間帯があり心配 5. 子どもの病気等で仕事を度々休まざるを得ない 6. 家族の理解や協力が得られない 7. 家事をする時間がとれない 8. 学校の保護者会、PTAなどの負担が重い 9. その他（ ）	・設問数の関係、子育ての不安や悩みの設問と重複するような内容のため削除	×	前回調査結果との比較 仕事と子育ての両立支援策の検討	●
51	周りに地域との繋がりがや 交流が図れる地域交流の 場は必要か	・地域の繋がりの把握	1. はい 2. いいえ	問い方、選択肢を問16-1のように変更	設問変更	地域交流の場や居場所が求められているかの把握、居場所や地域交流の施策の検討	●
60	この1年間に、病気やケガで学校を休まなければならなかったこと	・病児・病後児保育の推計ニーズ量の把握	1. あった 2. なかった	・量の見込みを算出する対象年齢が0～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業【病児・緊急対応強化事業】）の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■病児保育事業、子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業【病児・緊急対応強化事業】）	◎

NO	調査項目	設問のねらい	選択肢	変更理由	精査	精査理由等（量の見込みとの関係、施策への反映等）	種別
61	病气やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行った対処方法	・病児・病後児保育の推計ニーズ量の把握	(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった (2) 短期入所生活援助事業 (ショートステイ) を利用した (施設で緊急一時的に子どもを預かる事業) (3) (2)以外の保育事業 (認可外保育施設、ベビーシッター等) を利用した (4) 仕方なく仕事や買い物に子どもを同行させた (5) 仕方なく子どもだけで留守番をさせた (6) その他 () 親が休んで子どもを見た	・量の見込みを算出する対象年齢が0～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業]) の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業])	◎
62	上記1,2と回答した人それぞれの休んだ日数		3日以内、4～5日、6～10日、11～15日、16～20日、21～25日、26～30日、31日以上	・量の見込みを算出する対象年齢が0～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業]) の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業])	◎
63	「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったか	・事業の利用希望を把握	1. 病児・病後児保育施設等を利用したい 2. 利用したいとは思わない	・量の見込みを算出する対象年齢が0～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業]) の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業])	◎
64	利用したかった日数/年		3日以内、4～5日、6～10日、11～15日、16～20日、21～25日、26～30日、31日以上	・量の見込みを算出する対象年齢が0～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業]) の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■病児保育事業、子育て援助活動支援事業 (ファミリー・サポート・センター事業 [病児・緊急対応強化事業])	◎
65	病児・病後児を預ける場合に望ましい事業形態	・事業の利用希望を把握 ・今後の施策検討に活用	1. 他の施設 (例: 幼稚園・保育園等) に併設した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業 (例: ファミリー・サポート・センター等) 4. 自宅の近くで保育する事業 5. 最寄り駅に近い施設で子どもを保育する事業 6. その他 ()	・量の見込みを算出する対象年齢が0～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり病児保育事業のニーズ、拡充・改善等の検討	○
66	利用したいと思わない理由	・事業の利用希望を把握	1. 事前登録を知らなかったため 2. 子どもが病気の時は家庭での看病が可能であるため 3. 登録に手間がかかるため 4. 利用に際し不安・抵抗があるため 5. 利用料金が高いため 6. 場所が不便なため 6. その他 () 6. その他 ()	・量の見込みを算出する対象年齢が0～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり病児保育事業のニーズ、拡充・改善等の検討	○
70	日中の定期的な病气等のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業	・事業の利用希望を把握	1. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業) 2. すこやか保育 (子ども家庭支援センターすこやかで一時的に子どもを預かる事業)、3. トワイライトステイ (子ども家庭支援センターすこやかで平日夜間子どもを預かる事業) 4. 子どもショートステイ (施設で緊急一時的に子どもを預かる事業) 5. ベビーシッター 6. その他 () 7. 利用していない	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業 (トワイライトステイ、ショートステイ等)	◎
71	それぞれの事業の利用日数		3日以内、4～5日、6～10日、11～15日、16～20日、21～25日、26～30日、31日以上	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業 (トワイライトステイ、ショートステイ等)	◎

NO	調査項目	設問のねらい	選択肢	変更理由	精査	精査理由等（量の見込みとの関係、施策への反映等）	種別
72	利用していない理由	・子育ての実態を把握	1. 特に利用する必要がない2. 利用したい事業が地域にない3. 地域の事業の質に不安がある 4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない5. 利用料がかかる・高い 6. 利用料がわからない7. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない9. その他（ ）	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり幼稚園の一時預かりのニーズ、施策の拡充・改善の検討	○
73	私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業利用の必要性	・事業の利用希望を把握	1. 利用したい2. 利用する必要はない	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業（トワイライトステイ、ショートステイ等）	◎
74	私用、親の通院、不定期の就労等の目的での事業利用希望		(1) 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的(2) 冠婚葬祭、学校行事 (3) 子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等(3) 不定期の就労(4) 保護者や家族の育児疲れ・不安 (5) その他（ ）	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業（トワイライトステイ、ショートステイ等）	◎
75	それぞれの事業の利用したい日数		～日 3日以内、4～5日、6～10日、11～15日、16～20日、21～25日、26～30日、31日以上	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業（トワイライトステイ、ショートステイ等）	◎
76	保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないなかったこと	・子育ての実態を把握	1. あった 2. なかった	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業（トワイライトステイ、ショートステイ等）	◎
77	この1年間の対処方法		(1)（同居者を含む）親族・知人にみてもらった(2)子どもショートステイを利用した（施設で緊急一時的に子どもを預かる事業）(3)(2)以外の事業（ベビーシッター等）を利用した(4)仕方なく子どもを同行させた(5)仕方なく子どもだけで留守番をさせた(6) その他（ ）	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業	◎
78	それぞれの泊数		1泊、2泊、3泊、4泊、5泊、6泊、7泊、8泊、9泊、10泊以上	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業	◎
79	家族以外に子どもを泊りがけで預ける場合の困難度	・子育ての実態を把握	1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない	・量の見込みを算出する対象年齢がショート0～2歳、トワイライト・ファミサポ3～5歳を対象とし、設問数の関係から削除	×	子ども・子育て支援事業計画策定にあたり子育て短期支援事業の量の見込みの算出、確保方針に必要 ■子育て短期支援事業	◎
141	現在のお住まい	・家庭の住環境の把握	1. 賃貸住宅（一戸建） 2. 賃貸住宅（集合住宅） 3. 持家（一戸建） 4. 持家（集合住宅） 5. その他（ ）	問7に設問移動	設問移動	より詳細に家族構成や収入状況、住環境との関係、就労や子育ての状況との関係を把握するため 設問の場所はここではなく、就労状況等を聞くカテゴリに移す等要検討 ※家庭状況の上の方に持って行く？	●
174	調布市における子育てを続けていくにあたり、魅力となる要素	・自由意見	フリー入力？選択肢？	ニーズの調査ではなく、子どもの意見聴取等の機会を検討、設問数の関係から削除	×	今後の子育て施策の検討	●